

## 【初期生育は2～3日の遅れ、茎数少なめ】

### 1. 水稻の生育状況

5月17日～19日の大雨及び強風等の影響で、代枯れ症状が目立っておりましたが、その後の好天により現在は幾分回復傾向にあるものの、葉の痛みや黄化が見られる圃場も目立っております。

「あきたこまち」は現在「分けつ始期」で、葉齢から見た生育状態は、『**2～3日程度の遅れ**』となっており、草丈“**やや短め**”、茎数“**少なめ**”で、田植え期が本年とほぼ同時期であった前年との比較では、茎数が上回り、草丈、葉齢とも前年並みとなっております。

今後は**好天日に浅水管理による地温確保**を心がけ、生育の回復に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月6日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
<b>あきたこまち</b>	<b>23.0</b>	25.1	<b>85</b>	105	<b>5.2</b>	5.9
(慣行)	20.9		79.0		5.1	
(側条ペース等)	24.7		89.6		5.3	
<b>前年比</b>	<b>100%</b>		<b>109%</b>		<b>±0.0 葉</b>	
平年比	92%		81%		-0.8葉	
<b>たつこもち</b>	<b>24.4</b>	27.0	<b>97</b>	113	<b>5.1</b>	5.9
<b>きぬのはだ</b>	<b>26.3</b>	27.5	<b>109</b>	107	<b>5.8</b>	6.0
<b>ときめきもち</b>	<b>18.0</b>	27.2	<b>86</b>	100	<b>5.1</b>	5.7

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水管理

表層剥離の発生が多く見られる圃場については、水の入替えや浅水管理を実施し、茎数確保に努めてください。

#### 2) 還元障害対策

還元障害(ガス害)による酸素不足で分けつの発生等が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水し、その後入水するなど改善に努めてください。

#### 3) その他病虫害防除

現在、イネミズゾウムシによる葉の食害が見受けられます。食害が見られた場合は、つぎの薬剤を散布し防除に努めてください。【**トレボン粒剤2～3kg/10a**】

#### 4) [いもち病対策]

補植用苗を長く圃場に置くと、いもち病の発生原因となりますので、**速やかに補植を終了し、苗を処理**してください。

また、床土混和や育苗箱処理等の対策を施していない場合は、つぎの薬剤で予防に努めてください。

薬剤名	散布量/10a	使用時期
オリゼメート粒剤	2kg	あきたこまち 6/12～18日頃散布
ブイゲット粒剤		